



風は海から

令和5年1月10日
令和4年度 No.10
横浜市立西富岡小学校
学校だより1月号

今ある時を大切に

横浜市立西富岡小学校
校長 黒田 由希子

年が明け、令和5年となりました。謹んで新春のお慶びを申し上げます。
昨年は創立50周年記念行事もあり、保護者の皆様、地域の皆様に、さまざまな活動にご協力をいただきました。誠にありがとうございました。本年もどうぞよろしく願いいたします。私は、今年の正月、久しぶりに箱根駅伝の応援に行きました。寒風の中、前をしっかりと見据え、ひたむきに走る選手たちの姿に、自分もがんばっていかうと、たくさんの勇気をもらうことができました。

さて、今年は卯年です。「卯」という漢字は象形文字で、左右に開かれた門の姿を描いたもので、そこから、一日の始まりとなる朝を意味するという説があるそうです。新しい年の始めにふさわしい漢字ですね。また、うさぎは跳びはねることから、飛躍の年とも言われています。西富岡小学校でも、これまで行事や学習を通して培った力をいかし、子どもたち一人ひとりがさらに大きく飛躍できるような年にしていきたいと思ひます。

(西富岡小学校のモフクロ→)



先日ラジオで「コスパとタイパ」という言葉を聞きました。コスパはコストパフォーマンス。これはこれまでも費用対効果という言葉で教育の場でも使ってきました。タイパという言葉は聞いたことがなかったのでどんな意味なのか解説を聞きました。タイパはタイムパフォーマンスの略語で、動画や音声などのコンテンツを倍速視聴したり、本や映画などの結末を先に知り、必要なところだけを讀んだり視聴したりして、時間を短縮して効果を上げることだそうです。そう言えば図書館にも「〇分でわかる△△」というような本があることを思い出しました。時間は誰にも等しく有限ですから、このようにして時間を生み出し、子どもや家族とのコミュニケーションの時間にあてる、自分の知りたいことや勉強に使うなど、時間を豊かに活用することができれば、意味あることなのだと思います。一方、「困難さを乗り越え、粘り強さを身につける」という点からみると、たとえ時間がかかってしまっても最後までじっくりと見る、読むということも大切なことです。物語や小説には「行間」というものもあります。自分で立ち止まって頭の中を整理したり、情景を思い描いたりすることで味わえるよさもあります。どこを削って何を生み出すのか、1日の時間は有限であるからこそ、その使い方をしっかりと考え、工夫していく必要があると思ひました。子どもたちはあと3か月でそれぞれ次の学年に進みます。残された時間、今ある時間を大切に、価値ある時間となるように、教職員一同、心新たに教育活動に取り組んでいきます。どうぞよろしく願いいたします。